

児童朝会 校長の話 2月1日

今日から2月ですね。明日2月2日は節分です。節分は季節の変わり目と
いうことで次の3日は立春です。暦の上では春になります。

節分には豆撒きをしますね。季節の変わり目には、病気や災
いなど悪いものが入ってきやすいので、豆を撒いて追い払いま
す。得体の知れない悪いものを鬼に見立てて追い払います。鬼

と天狗と河童は、日本の三大妖怪と言われ、お話によく登場してきますね。今日は鬼
の話をします。



鬼は昔から怖いもの、悪いものを運んでく

るものとされてきました。平安時代、今から

1200年くらい昔、夜中になると鬼などの

妖怪たちが町の中をうろうろ歩き回ってい

るという話が、いろんなお話に登場するよう

になります。これが「百鬼夜行」です。室町時代や

江戸時代には、この「百鬼夜行」を想像してたくさ

んの人たちが絵を描いています。絵を見ると鬼も描かれています。

みんなのよく知っている昔話にも鬼はよく出てきますね。

桃太郎は犬や猿、キジを連れて鬼ヶ島へ行き、鬼を征伐しま

す。他にも、「一寸法師」「こぶとりじいさん」などの話があ

りますね。



さて、最近人気の「鬼滅の刃」も鬼と戦って退治するお話です。

この絵は、下弦の鬼たちと丹次郎、鬼の子になってしまった禰豆子、伊之助、義勇、善逸たちが戦っています。



最後まで生き延びた最強の鬼、
鬼舞辻無惨も、とうとう負けて殺
され、代わりに丹次郎は生き返り、
鬼のいない世界になるお話です。



今日のお話に出てきたのはみんな悪い鬼でしたが、地方によっては
悪いものをやっつけてくれる強い鬼として祀られている鬼もいるそうです。

明日は節分ですから、皆さんの心の中に、もし悪い鬼がいたら「鬼は外！」と言って追い
出してくださいね。